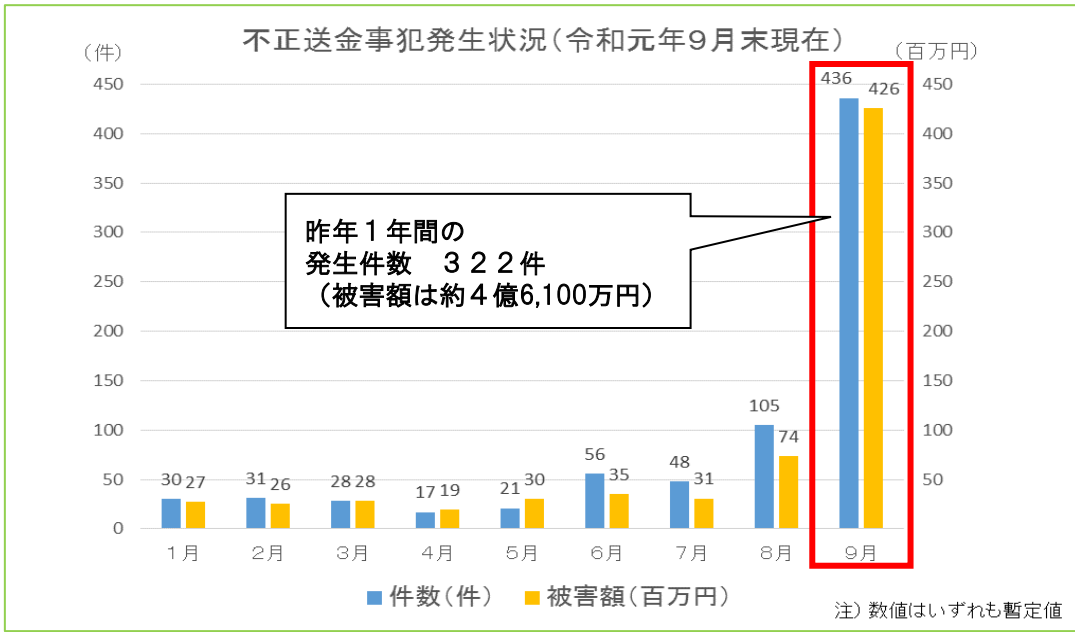


～三重県内で約800万円の被害が発生～ ネットバンク不正送金の被害が急増

インターネットバンキングに係る不正送金の被害が急増しています。本年9月には、わずか1か月間に、昨年1年間を大きく上回る436件の被害が全国で発生しました。（被害額は、約4億2600万円）10月以降も被害が多発しており、11月には三重県内で約800万円の高額被害が発生しています。



メールに書かれたリンクは要警戒

～被害に遭わないために～

被害に遭わないためには、メールに書かれたリンクにアクセスしないことが重要です。

また、次のような対策も有効です。

- ウェブサイト等で、金融機関からの連絡を事前に確認しておく。
- 正しいウェブサイトのURLを事前にブックマークに登録し、ウェブサイトへアクセスする際は必ずブックマークからアクセスする。
- アクセスしたウェブサイトのURL等が正規のものか、よく確認する。

不審なサイトで情報を入力してしまった場合は、すぐに金融機関や警察に相談してください。



偽サイトへ誘い込むメール等に注意

現在多発している不正送金は、携帯電話のショートメッセージ(SMS)を送りつけ、金融機関の正規サイトを装う偽サイトにアクセスさせて個人情報や口座番号、暗証番号等を盗み取る手口です。

ショートメッセージの内容は、「あなたの口座に不正アクセスがありました」など利用者の警戒心を逆手に取った巧妙なものが多く、注意が必要です。

<金融機関を装った偽メッセージの例>

- ××銀行ですが、「犯罪収益移転防止法」に基づき、本人確認提示をお願いします。
- 注意事項：第一暗証番号が翌日失効します。ご確認ください。
- 銀行を装う偽メールに注意して、安全のために、設備ロックを行ってください。

あなたの○○銀行口座に不正アクセスがあり、利用停止しました。利用再開手続きが必要です
<http://○○-bank.xxx>

ショートメッセージの受信イメージ

リンクのURLは、正規のものとは見分けがつかないよう、巧妙に偽装されていることもあります。